

NPO法人建築Gメンの会セミナー 震災から10年、教訓は生かされたか？

阪神・淡路大震災（兵庫県南部地震）から10年が経とうとしています。かの震災では、建物の倒壊、焼失により、多くの人命が失われました。当時、その事実に人々は大変な衝撃を受けましたが、10年が経とうとしている今、その記憶は風化してしまいかと懸念されます。現行基準を満足しない欠陥建築は相も変わらず生産され、既存住宅の耐震補強もさして行われていない実情をみると、ひとしおです。くしくも当セミナーの企画立案が済んだ後に新潟県中越地震が起き、痛ましい被災者の姿を目にすることとなりました。

改めてこの10年を振り返り、震災の教訓が活かされているかを検証したいと考えます。当会では、「阪神・淡路大震災から10年、教訓は生かされたか？」テーマに講演会を11月、12月と連続して開催することとしました。

今回のセミナーでは、長く耐震工学の第一線で活躍して来られた明治大学名誉教授 狩野芳一氏に、耐震工学の発展過程を踏まえた上で、「阪神大震災から10年を振り返って」と題して講演をして頂きます。また、一方、かの教訓は行政面でどのように反映されているのか、建築行政の取り組みについて、地方行政の第一線で活躍されている大田区建築審査課 奥村秀樹氏に、「住まいの耐震性はどこまで確保されているか」お話し頂きたいと考えます。



講演

1時限 13:05～14:35

「阪神大震災から10年を振り返って」

講師 かのう よしかず 狩野 芳一（明治大学理工学部 名誉教授）

2時限 14:45～16:15

「住宅は、今安全か？」

講師 おくむら ひでき 奥村 秀樹（大田区建築審査課）

日時：2004年11月28日（日）
13:00～16:30（開場12:30）

対象者：一般市民、建築関係者ほか

会場：国民生活センター1階大会議室

所在地：東京都港区高輪3-13-22

交通：JR / 京急 品川駅西口徒歩5分

入場：3,000円（定員120名）

主催：NPO法人建築Gメンの会

お申込：裏面申込用紙ご利用の上事務局まで



特定非営利活動法人
建築Gメンの会

お問合せ：

Tel 042-311-4110 Fax 042-311-4125

住所 〒206-0025 東京都多摩市永山4-2-4-108

Eメール jimukyoku@kenchiku-gmen.or.jp

ホームページ <http://www.kenchiku-gmen.or.jp/>

ファックス送信先 NPO法人建築Gメンの会事務局 042-311-4125

セミナー受講申込書

氏名

〒
住所

電話番号

ファックス番号

e-mail

受講人数 本人含めて____人

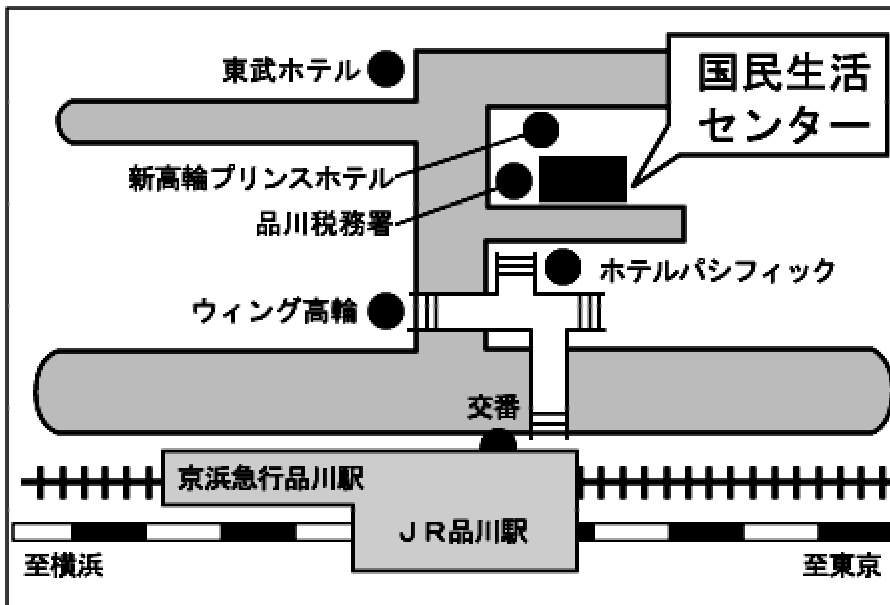
受講料 3,000円(税込)については、当日受付にてお支払下さい。
ご家族で受講される場合につきましては、まとめて一人分とさせていただきます。
上記と同内容をお知らせいただければ、メールによるお申込みも可能です。
当日は、このファックス用紙を持参いただきますようお願い申し上げます。

プログラム (11/28)

- 開会のあいさつ 大川照夫(NPO建築Gメンの会 理事長)
- 1時限目 13:05~14:35
「阪神大震災から10年を振り返って」
講師 明治大学理工学部 名誉教授 狩野芳一
- 2時限目 14:45~16:15
「住宅は、今安全か？」
講師 大田区建築審査課 奥村秀樹
- 閉会のあいさつ 中村幸安(NPO建築Gメンの会 顧問)

案内図

国民生活センター1階大会議室
東京都港区高輪3-13-22 品川駅西口徒歩5分



NPO法人建築Gメンの会とは？

「欠陥住宅をなくして欲しい!」と
の多くの声を力に立ち上がった、民
間非営利団体(東京都認証の特定非
営利活動法人)です。

会の活動は、講演・相談会をはじめ
め日常の電話相談「住まい110番」
工事・契約の第三者検査や欠陥住宅
マンションの調査・鑑定などです。

また、欠陥住宅をなくすために、マ
スメディア等を通じて、広く情報発信
も行っております。

なお、当会の活動に「興味がある」
「参加してみたい」という方は、事務
局(042-311-4110)までお気軽
にお問合せ下さい。